

コース番号 **10488-337** 4名様より催行 定員10名様

## 10名様限定 太古の地球の記憶が眠る インド洋に浮かぶ秘境マダガスカル8日間

燃油サーチャージおよび空港諸税は、旅行代金に含まれます。  
※今後、燃油サーチャージ金額が増減または廃止された場合でも、ご旅行代金を増減することはありません。

出発日 **2012年3月31日(土)**

旅行代金(おひとり) **旅行代金に關しましては、旅行会社に直接お問合せ下さい**

※ビジネスクラス利用区間は成田～アンタナリボ間の往復となり、その他の区間は予定機材や手配上の都合でエコノミークラス利用となります。

朝6、昼6、夕5付き 同行 4名 送迎 アンタナリボカーン(DX)、バコナ私営保護区バコナフォレストロッジ(SP)以上指定 送迎 再 送迎 マダガスカル航空指定(成田～バコナ間は、日本航空または全日空またはタイ航空) 送迎 送迎 お問い合わせください。

1	成田発 バンコク アンタナリボ	午前 空路、バンコク乗継便にてアンタナリボへ。 午後 着後、ホテルへ。 ホテル着24:30頃 機内(アンタナリボ泊)
2	アンタナリボ	午前 レミュールパーク観光へ。コクレルシファカ、ワオキツネザル、シロクロエリマキツネザルなどが放し飼いされています。また、島中から集められた珍しい植物をご覧いただけます。 午後 世界遺産アンボヒマンガ観光。丘の上に残る王宮跡・城壁を見学。 ホテル発10:00頃 / 着18:00頃 朝昼(アンタナリボ泊)
3	アンタナリボ ペリネ特別保護区 バコナ私営保護区	朝 <b>レールバス「ミシュリーヌ号(貸切)」にてペリネ特別保護区へ。</b> 着後、バコナ私営保護区へ。 午後 キツネザルを飼っているバコナ私営保護区内のレミュールアイランドを見学。 ホテル発8:00頃 / 着17:00頃 朝昼(バコナ私営保護区泊)
4	バコナ私営保護区 ペリネ特別保護区 バコナ私営保護区	午前 キツネザル類最大種インドリを求めてペリネ特別保護区内のウォーキングサファリを。(約2時間) 午後 バコナ私営保護区内の散歩へご案内。(約1時間) ホテル発8:00頃 / 着16:00頃 朝昼(バコナ私営保護区泊)
5	バコナ私営保護区 アンタナリボ	終日 バスでアンタナリボに戻ります。途中、カメレオンなどを間近で観察できるカメレオンファームへ立ち寄りします。 ホテル発9:00頃 / 着15:00頃 朝昼(アンタナリボ泊)
6	アンタナリボ ツィンギー モロンダバ アンタナリボ	終日 <b>専用チャーター機にて、マダガスカル西部を観光します。</b> マダガスカル最大規模のベマラハ国立公園へ。世界遺産ツィンギーの壮大で不思議な景観を上空からご覧ください。その後、モロンダバへ。上空から群生するバオバブをご覧ください。モロンダバでは降機し、バオバブの並木道へご案内。見学後、再びチャーター機にてアンタナリボへ戻ります。 ホテル発8:00頃 / 着18:00頃 朝昼(アンタナリボ泊)
7	アンタナリボ	午前 ハンドクラフトマーケットやアンタナリボの町を一望する絶景ポイントへご案内します。 午後 昼食後、空港へ。 夕刻 空路、バンコクへ。 ホテル発11:00頃 朝昼機(機内泊)
8	バンコク 成田着	午前 空路、乗継便にて帰国の途へ。 夕刻 通関手続き後、解散となります。 機内泊

※現地事情により、各寺院や観光箇所は予告なく入場できない場合がございます。その場合、別の観光所にご案内いたします。  
※マダガスカル入国の際、査証(ビザ)の取得が必要となります。詳しくは契約書面をご確認ください。  
※バコナ私営保護区のロッジは、バスタブのないシャワーのみのお部屋となります。

ツアー説明会のご案内  
会場:ロイヤル・グランステージ 銀座サロン  
10月25日(火) 13:00~14:30



インドリ Indri  
現存するキツネザルの中では最大であり、メロディを奏でるような鳴き声に注目。ペリネ保護区で多く見ることができます。



シロクロエリマキツネザル Ruffed Lemur  
耳から喉を覆う襟巻のような白い毛と他のサルより大きい鳴き声の特徴のキツネザルです。

ハウシャガメ Radiated Tortoise (マダガスカルホシガメ)  
黒褐色の甲羅と鮮やかな黄色の模様。特に美しいとされています。主に陸上で生活するカメです。



パンサーカメレオン Panther Chameleon  
左右別々に動く目が不思議な大型のカメレオン。カメレオンファームには世界最小のカメレオンも。



コクレルシファカ coquereli Sifaka  
主にマダガスカルの北西部に生息。体長よりも長い尻尾は成長すると50~60cmにも達します。かつては精霊が宿る動物として崇められていました。



### 癒しと感動の島マダガスカル 魅力のポイント

専用チャーター機を利用し、世界遺産ツィンギーとモロンダバのバオバブ群生を上空からご覧いただけます。また、チャーター機を利用することで、長時間かけて悪路を移動することもなく、さらに全都市連泊のためお体への負担をできる限り軽減した行程です。

#### マダガスカルのおみやげ

マダガスカルの特産であるバナナピーンズやチョコレート、スパイス類が代表的なおみやげです。また、カラフルな伝統工芸品やアンチエイジングの強い味方となるオーガニックコスメも見逃せません。



豊かな自然に囲まれてマダガスカルには多くの固有種が存在しています。中でもキツネザルなどの原猿類の中でもっとも大きいといわれるインドリを多く見ることができ、ペリネ特別保護区です。公園内はガイドの案内でインドリウォッチングを楽しむことができます。

#### 神秘の国マダガスカルは動物たちのパラダイス



レトロな車体、藤を使ったお洒落な内装にも注目

植民地時代の蒸りを残すレトロな列車に揺られて  
ペリネへはレトロなボンネット型の観光列車を貸し切って移動します。レールの上をゴムタイヤで移動するこの不思議な鉄道はミシュリーヌと呼ばれ、フランスのタイヤメーカーであるミシュランが一九三〇年代に製造し、フランスの他にマダガスカル、インドシナなどのフランスの植民地で走行していました。ミシュリーヌが現存しているのはマダガスカルのみで、残っている車両は二台だけになっています。



ブラウンキツネザル Broon Lemur  
サルというよりもキツネに近いような顔が特徴的。体毛はオスもメスも焦げ茶色の小型のサルです。



ワオキツネザル Ring-tailed Lemur  
体よりもやや長い、とてもキュートな白と黒の輪をつなげたような尻尾をもち、マダガスカルの国を象徴するナショナル・アニマル。尾の模様から「輪尾(ワオ)」キツネザルと呼ばれています。



直に体を保った姿勢で幹にしがみつくと、の姿はとも愛らしく、タイミングが合えばインドリの特徴的な鳴き声によるコーラスを聴くことができます。その愛らしさを、マダガスカルの人びとはインドリを祖先の化身と考え、手厚く保護しています。

バコナ私営保護区のレミュールアイランドでは敷地内の湖をカヌーで進んだり、森林を歩きながら動物たちを観察します。敷地内にはたくさんさんのキツネザルが放し飼いになっており、その愛らしい姿を間近で確認できます。そして驚くことに動物たちはカヌーに飛び乗ったり、場合によっては近寄ってくることも。彼らの愛嬌たっぷりな動きに思わず顔もほころんでしまうことでしょう。

アンタナリボ郊外にあるレミュールパークでも、ワオキツネザルやシファカ、その他マダガスカルに生息する動物たちを見ることもできます。運が良ければ、カメの背中に乗るキツネザルに遭えるかもしれません。

インド洋に浮かぶ神秘の島マダガスカル。日本とは全く異なる独特の生態系や文化に触れることで、新たな発見や地球の偉大さを実感できるでしょう。今まではとほとほと味もふた味も異なる魅力が詰まった未知なる冒険旅行へ出かけてみませんか。